

ステップ・アップ

No.37

家族会のごあんない

家族会は同じ悩みを持つ家族の集まりです。心の病気にかかり、「どうしてこんな病気になったの?」「良くなるの?」「どう接すればよいの?」など、多くの疑問を抱え、悩まれていた家族の方は多くいらっしゃいます。家族だけで悩まず、当院家族会に参加下さい。家族同士が知り合い、繋がり、悩みや不安を話し合うことで、少しずつ心の負担を軽減することができます。



毎回、病院からは医師・看護師・精神保健福祉士・作業療法士・心理士等の多職種のスタッフも参加します。病気の正しい知識や本人への適切な接し方、社会復帰のために何が必要かということをも本人、家族同士、病院で話し合います。また家族のみなさんが相談したいことや知りたいこと、悩み事や不安なこと等も話します。

毎月第三土曜日に家族会を行っています。家族の方ならどなたでも参加できます。お気軽に参加ください。参加された方が「大変なのはウチだけじゃなかった」「話ができスツキリした」等、家族の心が少しでも楽になる会にしたいと思っています。

入会について

入院・外来とも事務局にて、入会の手続きをしております。

☎ 083-262-0832

(代表：外来看護師 富田)

内容

病院職員によるレクチャー

(疾患や薬、本人への対応方法、福祉制度、社会資源について等)

交流会での他の家族との情報・意見交換

夏祭り、運動会、クリスマス会等病院活動への参加

開催日時

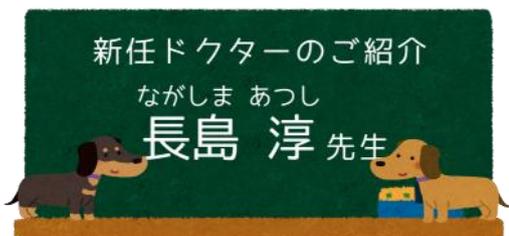
毎月第3土曜日
13時より行います。

開催場所

下関病院附属 地域診療クリニック 2F
デイケア・ルーム

会費

外来・入院ともに
月額 200円



2016年4月より勤務させて頂いている長島淳です。それ以前は、約20年間、外科医として消化器外科や乳腺外科などの手術に携わってきました。プライベートでは、4匹のミニチュア・ダックスフントと暮らし、スキューバダイビングと車が趣味です。休日には、4匹を連れて、夫婦でペットと泊まれる温泉旅館を訪ねたりもします。

外科医として、緩和医療に関わった経験はありますが、精神科での勤務は初めてです。何かと御世話になる事も多いと思いますが、宜しくお願いいたします。



下関学術講演会

平成28年2月27日

「発達障害の子供の理解と対応について」

山口県立大学看護栄養学部 学部長 大学院 健康福祉学研究科 教授 中村 仁志 先生



最近では自閉症スペクトラム（以下ASD）という考えが広まりつつあり、発達障害の理解も広く複雑になっているため、ここで今一度正しい理解が必要であろう。

注意すべきは、かつてASDは非常に稀なものであったが、近年は20倍にも増しており、「理解しにくい人」「扱いにくい人」にASDや発達障害と安易に診断してしまう（まわりもそう見てしまう）ことは様々なチャンスを閉ざしてしまう可能性を孕んでいる。

大切なのは対象者の行動をよく観察し、家族の態度と診断の検証を続けることであると話され、自分の臨床を振り返らせられるとても貴重な時間をいただきました。

（臨床心理士 寺井アレックス大道）



平成28年3月25日

「不眠症治療戦略 長期予後を見据えて ～不眠症と生活習慣病・認知症～」

医療法人水の木会 下関病院附属地域診療クリニック 院長 末次 正知 先生



地域連携といわれている中、かかりつけ医の先生方の当院に対する期待は大きいようである。そうした中今回の公演となりました。

記憶の固定には徐波睡眠が重要だが、もともと高齢者は徐波睡眠が少ない。アミロイドβが海馬へ蓄積してしまう。徐波睡眠の確保により、中性脂肪の値が低くHDL値は高くなる。逆に少ないとインスリン感受性低下、耐糖能低下、糖尿病悪化となる。うつ、生活習慣病、認知症、睡眠障害は相互に影響を与えている。予防のためには、適切な睡眠時間と、不眠へはBZ系ではなくオレキシン受容体拮抗薬か抗うつ

薬の使用が望まれ、早期からアミロイドβが蓄積しにくいライフスタイルが必要であるという内容でした。

非常に示唆に富んでおり、引き付けられる内容でありました。

（薬剤部長 三根 秀哉）





副看護部長からのあいさつ

小嶋 千春 (看護管理/正看護師)

平成28年4月1日から入職いたしました 小嶋 千春 と申します。

この度は副看護部長という大任を拝し、大変緊張しております。

趣味は読書とテレビ鑑賞です。テレビは主にドラマ視聴です。家族は夫と、毎日お弁当を作ってくれる義母との3人です。

精神科の経験はあるものの今迄との環境の変化に戸惑っています。しかし下関病院の発展のために微力ではありますが、精一杯尽力いたしますので今後ともよろしくお願いいたします。



病棟スタッフ

石田 峰代 (急性期病棟/正看護師)

4月より急性期病棟に配属されました。精神科看護は初めて経験します。

焦らずゆっくりと精神科看護を学び、患者さんの心を少しでも支えられるよう努めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

原野 晋吾 (男子回復期病棟/准看護師)

私はマイペースで裏表のない性格をしています。患者さんとの関わりでは、誰とでも公正に接し、患者看護師関係を築いていきたいです。



廣瀬 公子 (女子回復期病棟/正看護師)

前職は総合病院に勤務していました。

今回、女子回復期病棟での勤務で精神科医療を一所懸命に頑張っており勉強中です。

一日でも早く慣れて良い看護が出来るようにしたいと思っています。



土生 鈴彩 (女子回復期病棟/准看護師)

看護師1年生です。今回、女子回復期病棟で働くようになりました。

分からないことだらけではありますが、先輩方の方々に教えてもらいながら早く病棟の一員として患者さんに寄り添える看護師になれるように頑張ります。

畑村 亜衣加 (男子リハビリ病棟 / 正看護師)

精神科看護は初めてですが、基本的人権の尊重を忘れずに専門的立場から患者さんを理解し、個別性に応じた全人的かわりをしていきたいと思えます。

その上で患者さんのみならず、ご家族も含めて社会に適應できるよう援助させていただきたいと思えます。

大坂 美代 (女子リハビリ病棟 / 正看護師)

はじめまして。精神科の病院で働くのは初めてで分からないこともあります。頑張っていきますのでよろしくお願いします。



豊田 芳江 (老年期病棟 / 正看護師)

免許を取ってあれから〇〇年。若い方が多く少し恥ずかしい気もしますが、色々教わりながら患者さんの支援に役立てる様頑張りたいと思えます。



コメディカルスタッフ



柴崎 真未 (作業療法士)

4月から女子リハビリ病棟の担当になりました。やっと夢だった精神科OTになることができとても嬉しいです。教えてもらってばかりではなく、自分から学ぶという姿勢を忘れずに頑張りますのでよろしくお願いします。

本園 羊司 (臨床心理士)

福岡から引っ越してきました。先日は角島に行きました。その他山口県民の知る山口おすすめスポットを知りたいです。

意気込みとしましては、仕事や人間関係などの患者様の社会生活の支援をしたいです。

山下 華美愛 (男子リハビリ病棟 / 看護補助)

私は学生時代テニスをしていました。病院で働くのは初めてで右も左も分かりませんが、頑張りますのでよろしくお願いします。



杉野 美香 (女子リハビリ病棟 / 看護補助)

私は小さいころから看護師になるのが夢でした。初めてのことがたくさんあり、不安でいっぱいですが明るく前向きにやっていきたいと思えます。早く仕事に慣れて学校の方も余裕に出れるよう頑張りたいと思えます。よろしくお願いします。

田原 暁仁 (作業療法士)

4月から男子リハビリ病棟の担当になりました。分からない事が多々ありますが、先輩方の動きを見て学び、早く1人のOTとして仕事ができる様に頑張っていきますのでこれからよろしくお願いします。

中本 大介 (心理士)

最近バドミントンの練習をしています。男子回復期病棟・男子リハビリ病棟を担当させて頂くことになりました。至らない点も多々あると思えますが頑張りますので、今後ともご指導よろしくお願いします。

中務 加奈依 (心理士)

岡山県で生まれ育ち、この度山口県に参りました。

社会人1年目で至らないことばかりですが、早くお役にたてるように頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

藤井 淑子 (保育士)

保護者の皆様の気持ちに寄り添い、安心して働くことができるようお子様をしっかりとお預かりしたいと思っています。

日々、子ども達と笑顔いっぱい楽しく過ごせるよう努めさせていただきます。

三原 あゆみ (精神保健福祉士)

山口市出身です。下関は初めて住む街ですが穏やかな雰囲気居心地の良さを感じています。

経験不足な所もありますが患者様やご家族の想いに丁寧に寄り添っていきたくと思っています。

直向きに明るく笑顔で頑張ります。



下関病院附属 地域診療クリニック

西山 英里 (訪問看護/作業療法士)

前職でも訪問看護に携わっていました。

まだ数週間ですが、症状が強く残っていても穏やかに生活できている利用者さんに驚いているところです。

利用者さんと本音で話せるようになり、一日でも長く地域で生活できるように支援していきたいです。

有料老人ホーム 山茶花

佐古 和子 (介護福祉士)

始めまして。私の趣味は色々ありますが、今は写真・ドライブ・ゴルフです。

職場は働きやすく先輩たちに良く教えて頂いています。

利用者様はとても明るく人生の先輩です。

その方達をお世話させていただいています。

ある一節に「他の足元照らすと我前明らかになる」一節があります。

私もいずれは誰かにお世話になるはずです。

ご家族、利用者様が「此处で良かった」と思っただけの様にと心がけています。

介護老人保健施設 豊松苑

植田 麻里 (理学療法士)

4月に入職し豊松苑に配属していただきまして、新たな一步を踏み出しました。

これから患者様、そして下関病院に貢献できるような仕事に取り組むとの思いに満ちています。

わからないことが多く、ご迷惑をお掛けしますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。



行事報告

『ぴーすふる青竜泉』（男子リハビリ棟）



2月25日（木）に院外活動として温泉と角島に行きました。

温泉は豊浦町にある“ぴーすふる青竜泉”に行かせて頂きました。施設内は綺麗に整えられており、地域の旬な野菜などが販売されていました。施設スタッフと患者さんと温泉に関する話しをするなど、地域の方と交流を図る場面がみられました。



また、角島では海岸で散歩を行いました。冷たい風と暖かい日差しの中での散歩は季節を感じる機会となったのではないのでしょうか。今後も院外活動を通して気分転換を図るとともに、地域の方々との関わりを大切にしていきたいと感じました。

（作業療法士 土谷 亜維）

『莓狩り』（女子回復期病棟）



2月19日（木）に院外活動として、植生の「花の海」へ莓狩りに行きました。

天候にも恵まれ、莓狩りという作業を通して地域の方との交流が多く見られました。赤く熟した莓を頬張る患者さん達はとても嬉しそうにしており、病院でみる笑顔とはまた違った明るい表情がみられました。



また、同施設内に飼育されている子ヤギや子豚への餌やり体験も行わせていただき、動物との交流に癒された方も多くいたようです。あっという間でしたが、スタッフ含め全員で楽しい時間を共有することが出来ました。

（作業療法士 岩崎 僚太）



連載
第20回

スタッフでつなげる、趣味のはなし。

つなげよう！

スタッフの

わ

今回は、事務部の
惣田 文子 さん
です。

私の最近の趣味は食器に自分好みのペイントをすることです。



専用のペンと耐熱性食器があれば、簡単にオリジナルの食器を作ることが出来ます。私が始めたきっかけはテレビ番組で紹介されているのを見て、もともと絵を描くのは好きな方だったので試してみたいと思いました。どんなデザインにしようか、このお皿には何を乗せようなどと色々想像を膨らませながら描くのがとても楽しいです。皆さんも興味があれば是非やってみてください。

➡ 次回は、事務部の田中さんです。おたのしみに！

編集後記

GWを目前に九州地方は震災に見舞われ、ほぼ同時期に南米の国エクアドルでも大規模な地震が起きました。いつ起こるのか予測できないことが、自然災害の怖さの一つでもあります。“ここは大丈夫”と安心するのではなく、最悪の事態にも対応できるよう、常に最低限の備えを心がけましょう。

（広報委員 岩崎 僚太）

下関病院 広報委員会

〒759-6613

山口県下関市富任町6丁目18番18号

☎ 083-258-0338 FAX 083-259-8876

<http://www.mizunoki.jp>

shimobyou@mizunoki.jp

水の木会

検索

